



【ご参考資料】

2008年8月27日

## LAオートショーで「2009年 Green Car of the Year (GCOY)」を発表 ～環境に最も配慮した自動車を表彰～

2008年11月19日から開催されるロサンゼルス(LA)オートショーにて、「2009年 Green Car of the Year (GCOY)賞」がプレスデーの最終日(11月20日)に発表されます。

LAオートショーは、デザインや環境に配慮した最新技術にフォーカスしており、同ショーにて行われる自動車メーカー各社によるデザインコンテストの「デザイン・チャレンジ」が注目を集めるとともに、GCOY賞を通じて環境に配慮した車両や技術の評価にも取り組んでいます。

グローバルレベルで環境保護への意識が高まり低燃費車の需要も急増する中、北米最大の環境・自動車雑誌「Green Car Journal」は、2005年から環境にやさしいクルマを選出するGCOY賞を創設し、毎年LAオートショーで発表しております。

数多くの車両の中から5車の候補車両を選定、公表し、11月20日のプレスデー最終日にGCOY受賞車が発表されます。

2007年は、ハイブリッドSUVながらも中型車同様の燃費を実現できることから、審査員が2008年型シボレー・タホー・ハイブリッドを評価し、GCOY賞に選定いたしました。2006年は、トヨタ カムリ・ハイブリッド、そして、初回2005年は、マーキュリー・マリナー・ハイブリッドが受賞しました。

「歴史的に、ロサンゼルス周辺は北米の自動車産業や環境運動のイノベーションリーダーであり、それがGCOY賞のコンセプトと一致し、LAオートショーでこの大事な発表が行われています」とGreen Car JournalとGreenCar.comの編集長兼社長、ロン・コーガン(Ron Cogan)氏は述べています。

### GCOY賞について

翌年の1月1日までに市販されることを条件に、Green Car Journalは、調査研究や試乗を元に候補車両を5車に絞り込みます。

現行モデルの全てが対象となり、第一次選考では、様々な項目をチェックする中で、目新しさも重要ですが、何よりも車両と搭載された環境対応技術が、環境にどれだけ影響を与えるかがポイントになります。

受賞車の最終選定にあたっては、交通技術、自動車設計、環境保護などの分野の専門家による審査委員会を設置し、選定を行っています。過去には「Sierra Club」や「Ocean Futures Society」などグローバルな環境保護団体のトップや自動車業界の重鎮であるCarol Shelby氏などが審査員を務めたことがあります。

## **LAオートショーについて**

LAオートショーは100年の歴史を誇りますが、秋の開催となってから、今年で3回目となります。プレスデーは11月19日(水)～20日(木)、一般公開日は21日(金)～30日(日)の10日間となります。

LAオートショーでは、周辺地域の環境に対する強い意識や、自動車メーカー各社がデザインスタジオを設置していることなどにより、デザインや環境を配慮した最新技術にフォーカスしています。

プレスパスの登録手続きは、9月15日に開始します。プレスパス登録やショー詳細は、今後、[www.LAautoshow.com](http://www.LAautoshow.com) にて、順次ご案内してまいりますので、ご覧ください。

また、LAオートショーに関する様々な情報はプレスリリースとして、今後ともご提供してまいります。

本プレスリリースに関するお問い合わせ先:

**フライシュマン・ヒラード・ジャパン株式会社**

ダグラス・フット 03-3524-4622 / douglas.foote@fleishman.com

山崎雅之 03-3524-4610 / masayuki.yamazaki.@fleishman.com